

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.26
令和3月24日
文責：校長 松野克己

第130回佐志小学校卒業式



3月16日放映 チャンネルからつ「唐津市ニュース」より

3月16日(木)、佐志小学校第130回卒業式を行いました。卒業証書授与では、顔を上げて目を合わせ、きちんと腕を伸ばして授与される卒業生の姿を見て、渡す私が緊張しました。別れの言葉からは、お世話になった方への感謝や中学校生活への意欲がしっかりと感じ取れました。出席した4・5年生も姿勢よく話を聞き、はきはきとした呼びかけができましたし、保護者代表の井手さんのご挨拶も心に響くものでした。一言にすると、緊張感の中に感謝や惜別の思いの伝わる引き締まった卒業式で、目指していた「厳粛な中にも温かみのある卒業式」が立派にできたと思います。卒業生のこれからの頑張りを願ってやみません。卒業式の中で伝えた式辞の一部をご紹介します。

みなさんは今日、この日をもって、慣れ親しんだ佐志小学校に別れを告げ、約3週間後には、次のステップである中学生になります。この中学校進学をみなさんはどのように受け止めているのでしょうか。期待は大きいでしょう。真新しい制服を着て、新しい校舎で過ごす自分をイメージするとワクワクしませんか。ただ、同じくらい、あるいはそれ以上に不安を抱いている人もいることでしょう。なにしろ大きく環境が変わります。過ごす校舎も変わりますし、最上級生から新入生という立場が変わります。教科によって先生も替わりますし、部活動という新たな経験をする人も多いでしょう。校区を離れる人は友達ができるかどうかを気にしている人もいるでしょう。でも、みなさんなら大丈夫です。これまで同様に一年生の時から培われた「気づき、考え、実行する」姿勢を貫いてください。そうすれば、自ずと道は開けます。楽しく、充実した中学校生活がみなさんを待っているはずですよ。

卒業という大きな節目を迎えたみなさんに、校長先生が伝えたいことは一つ。それも聞き慣れた言葉です。想像できる人もいるでしょう。それは「自分も他者も大切にしたい中学生になって欲しい」ということです。「自分を大切にしたい」ということはもちろん命を大切にすることです。でも、ただそれだけではありません。みなさんには大きな可能性があります。その可能性を伸ばしていくために、どんな自

分になりたいかをイメージして欲しいのです。将来の職業だけの話ではありません。例えば「周りから信頼される人になりたい」という未来の自分を思い描き、「そのために、嘘をつかない・約束を守る・友達を思いやる」といった志を立て、それを日々の生活で実行していくのです。部活動や習い事に励むこと、日々の学習を集中して取り組むことなども自分を大切にすることにつながります。一方で、これからはみなさんを惑わすよくない誘惑も多くなりますから、これまでも繰り返してお話してきたように、善悪をよく考えた行動を心がけてください。未来の輝かしい自分の姿をしっかりとイメージすることが、その判断を後押ししてくれます。どうか、自分を大切にしてください。これから長い道のりを、迷いながらも、確かな足どりで歩いて行ってください。

同時に「他者を大切にすること」については、友達を大切にしてきたみなさんにはよく分かっていることでしょう。修学旅行の班別行動のとき、授業におけるグループワークのときなど、みなさんは友達の考えを尊重し、折り合いをつけて問題を解決しようとしてきました。中学校でもその先の高校や大学、さらには社会人になっても、それは変わりません。これから出会うたくさんの人のことを理解しようと努め、その人を尊重しながら成長してください。もちろん、ぶつかることもあるでしょうが、やはりそこで折り合いをつけていくことが、みなさんの自己存在感につながります。真の幸福は、人から認められたり、人の役に立つことで生まれるものです。

もう一度繰り返します。どうかこれからも、自分も他者も大切にしてください。

来年度もよろしくお祈りします

まもなく令和4年度が終わります。コロナ禍の学校生活は3年を過ぎ、Withコロナが定着した感があります。しかし、来年度からはマスク着用が自己判断となりますし、対策の緩和もできそうです。とは言え、感染拡大がないという保障はありません。状況に応じた対策を今後も行っていきたいと思えます。

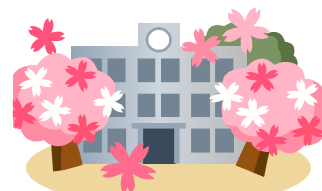
ここ1・2年、多忙な教員の実態が取り沙汰されることが多くなりました。これは今に始まったことではなく、私たちの年代も、担任は毎日、自宅に仕事を持ち帰っていました。ただ、今は据え置き校務用のパソコンを使いデータの持ち帰りも原則許されないため、どうしても遅くまで学校に残って仕事をしたり、休日出勤をしたりしないと仕事が進まない状況があります。また、これまでもやっていた授業や宿題の準備や評価が減ることもなく、逆に一人一台端末の導入で教員自身が使い方を学ぶ時間が必要になったり、より細やかな保護者との連絡が求められたりすることで、多忙化はますます深刻になる一方です。私は職員に「先生が子供との関わりを楽しむような心の余裕をもちましょう。」と伝えることがありますが、そのためには、今の仕事を見直して、精選したり軽重をつけたりすることが必要です。これは決して楽をしましょうということではなく、子供としっかり向き合う時間と心の余裕をもちましょうということです。

今、教員のなり手が不足しており、担任が何らかの理由で休職すると、代わりの先生がいないという状況です。保護者の皆様には、このような学校の状況をご理解いただき、学校の応援団になっていただくことが我々に力を与え、それが子ども達にも必ずいい影響を与えることになるはずで。

最後になりましたが、この1年の本校教育活動に対するご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。来年度も今年度同様、ご理解やご協力をいただきますよう、お願いいたします。

令和5年度のスタートにあたって・・・

- 本日、職員転出のお知らせプリントを配布しています。ご覧ください。
- 始業式は従来は4月6日でしたが、今年度より4月7日となります。**7日(金)が始業式です。**
- マスクの着用は自己判断となります。
- 体温測定と健康チェックは、これまで通りご家庭でお願いします。発熱や体調不良の場合は登校を控えさせてください。
- 多くの職員が児童を覚えるために名札の着用をお願いします。登下校の際の着用は保護者の方でお決めください。



☆何よりも子ども達が元気に新学年のスタートを切ってくれることを願っています。☆